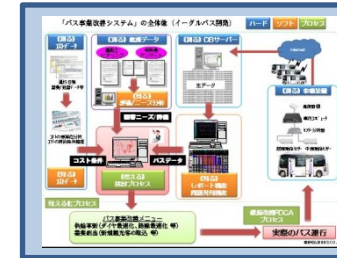


案件化調査

ラオス国 ラオス国ビエンチャンにおけるバス事業改善システム案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：イーグルバス株式会社
- 提案企業所在地：埼玉県川越市
- サイト・C/P機関：ラオス国ビエンチャン・ビエンチャンバス公社



バス事業改善システム概略

ラオス国の開発課題

- バス事業の衰退（利用者減少、車両の老朽化）
- バス公社の運営体制・事業改善の必要
- バス運行システムの改善の必要

中小企業の技術・製品

- バス事業の中心である「バス運行システム」をデータを用いた手法で改善
- 運行システムの継続改善により「品質向上」と「収支改善」を図り、持続的なバスサービス提供

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- JICAが実施中の「ビエンチャンバス公社運営能力改善プロジェクト」と連携し、バス公社のバスサービス改善に貢献する。
- 普及・実証事業を活用し、GPSやセンサー機器をラオス国ビエンチャンの一部路線に一定規模（2012年に無償資金協力により供与されたバスを含む最大50台程度を想定）で導入し、「イーグルバス・バス事業改善システム」を実際に稼働させ、一部路線にて実際のバス事業の改善を実証する。
- バスサービス提供に必要な運営体制、運行システム等が整い、バス公社が持続的なバスサービス提供を行える体制が構築され、バスの利便性の向上、利用客の増加、交通渋滞の緩和等が期待される。

日本の中小企業のビジネス展開

- ラオス周辺国のバス事業者・自治体等への「イーグルバス・バス事業改善システム」の展開
- 「イーグルバス・バス事業改善システム」をマネジメントする人材育成・研修の事業化